

タイトル	和光市立大和中学校全校生徒の思いを被災地へ
いつ 実施日時・工期	平成24年3月4日(日)
どこで 会場・開催地等	岩手県大船渡市 赤崎地区公民館
だれが 主催者・関係者	大和中学校生徒会 高橋真奈美副会長・高橋葵書記 大和中学校 PTA 会長 神杉 彰 書記 榎本 里栄子 会計 細野 季絵 会計 高橋 奈津子 大船渡市 PTA 連合会 会長 三宅 肇 副会長 佐藤 孝哉 副会長 千葉 靖 副会長 白木澤 孝博 事務局 大船渡市立日頃小学校 小笠原 厚子副校長
なにを 事業内容など	和光市立大和中学校生徒会が主催した学園祭「飛翔祭」で集めた義捐金を直接、大船渡市 PTA 連合会へ手渡した。
なぜ 目的・理由	復興支援のため
どうした 経緯・経過	PTA が主催してきたバザーを生徒会が実行委員となり生徒の学園祭「飛翔祭」を開催するに当たり、震災半年もたっていない中、中止も検討されたがみんなで力を合わせて被災地に力を届けようと開催した。周辺の地域にも学校を開放し、多くの来場者があり、多くの方々から募金をいただいた。市内の小中学校の協力もいただき出店していただいたが、その売り上げ・募金・その他バザー収益金等をすべて大船渡市の子供たちのため大船渡市 PTA 連合会へ直接、実行委員の生徒会から手渡した。 当日の朝6時に和光市を車で出発し、気仙沼に入ったのが午後の1時、一本松を右に見ながらまだまだ復興が進んでいない陸前高田の街をめぐって、赤崎地区公民館に到着。道路まで PTA の方々が出迎えていただき、集会場の1室で大船渡市 PTA 連合会の方々と1時間半懇談、その後、津波で被災した赤崎小学校を見学した。大船渡市を午後3時に出発し午後10時30分に和光市に無事戻った。
金額	74,712円
その他	和光市が大船渡市へ職員を派遣している関係で和光市から大船渡市へ連絡を取ってもらい、届けることになった。 被災当時の状況や震災から約1年が経過した大船渡市の今の子供たちの様子、個人で備蓄しておいた方が良い品物などご教示いただいた。また、遠く離れた地域にいる私たちが今回、「見て」、「聞いて」、「感じたこと」を周りに伝えることが使命であると強く感じた。生徒たちは涙することもあったが、大きくなずきながら真剣に三宅会長のお話を聞いていた。とても大切な一日になったのは間違いないと確信する。
問い合わせ先	氏名 神杉 彰(大和中学校 PTA 会長) 電話 090 - 9232 - 3533



【写真左:大船渡市PTA連合会会長、写真右:和光市立大和中学校生徒会副会長】